

便秘薬グーフイス錠の成績

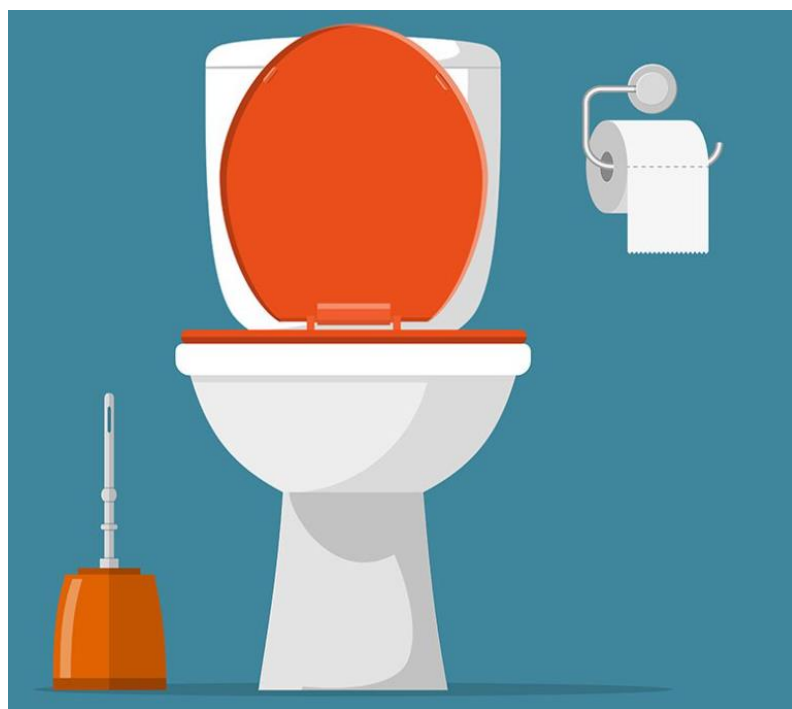
新しい便秘薬「グーフイス(R)錠 5mg」(エロビキシバット)に関する2つの臨床試験の結果が、「The Lancet Gastroenterology & Hepatology」誌に掲載されました。



エロビキシバットは、世界初の作用機序を有する1日1回経口投与の慢性便秘症治療薬。胆汁酸の再吸収にかかわるトランスポーターを阻害することで、大腸に流入する胆汁酸量を増加させ、水分分泌と大腸運動促進の2つの作用で自然な排便を促すことが期待されています。



エロビキシバット 1日1回2週間経口投与した結果、自発排便回数の変化量、完全自発排便回数の変化量、初回自発排便発現までの時間、便の硬さなどで有意な改善を示しました。



また、エロビキシバット 1 日 1 回 52 週間投与した結果、自発排便回数、完全自発排便回数および便の硬さなどで改善効果が投与第 1 週より認められ、52 週まで良好に維持されました。また、投与期間が長くなるのに伴い排便に関する満足度が増加する傾向が見られました。

